

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ムサン

コード番号 7521 URL <http://www.musashinet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 厚一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 青坂 修司

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日

TEL 03-3546-7710

平成23年12月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	18,968	△10.8	572	△51.3	632	△49.4	295	△43.9
23年3月期第2四半期	21,253	10.3	1,174	51.4	1,250	38.8	526	1.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 309百万円 (△29.7%) 23年3月期第2四半期 439百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	37.22	—
23年3月期第2四半期	66.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	38,776	23,585	60.8
23年3月期	40,129	23,379	58.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 23,585百万円 23年3月期 23,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	13.00	28.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,470	△7.2	1,150	△38.5	1,260	△37.5	690	2.2	86.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	7,950,000 株	23年3月期	7,950,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	6,003 株	23年3月期	5,804 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	7,944,096 株	23年3月期2Q	7,945,008 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受けたサプライチェーンの急速な復旧に伴い企業の生産活動は徐々に回復しつつありますが、欧米諸国の財政問題や新興国のインフレ対策等による世界経済の減速懸念に加え、円高の継続や株安の進行などにより、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下の通りであります。

## (情報・印刷・産業システム機材)

情報システム機材は、文書のデジタル化業務の受注に設備投資抑制による遅延が見られたほか、競合激化による単価下落の影響を受け落ち込みました。また、スキャナーなどドキュメントの電子化機器の販売も落ち込みました。

印刷システム機材は、印刷需要の低迷により印刷材料の販売が落ち込みました。

## (金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、セキュリティ機器の販売は順調に推移しましたが、金融市場における機器の更新が進まず貨幣処理機器の販売が落ち込みました。

選挙システム機材は、統一地方選挙向け機材の販売は順調に推移しましたが、その他の各地方選挙向け機材の販売が若干低調に推移いたしました。

## (紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、付加価値の高い情報用紙の販売は伸長しましたが、企業の広告宣伝活動縮小の影響により、主力のチラシ・カタログ向け印刷用紙の販売が若干落ち込みました。

## (その他)

不動産賃貸業等は、堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は189億68百万円（前年同四半期比10.8%減）、営業利益は5億72百万円（前年同四半期比51.3%減）、経常利益は6億32百万円（前年同四半期比49.4%減）、四半期純利益は2億95百万円（前年同四半期比43.9%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は281億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億64百万円減少いたしました。減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少（29億33百万円）及び流動資産の「その他」の減少（3億40百万円）、増加の主な要因は、現金及び預金の増加（21億32百万円）であります。固定資産は、106億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、387億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億53百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は130億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億92百万円減少いたしました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（9億93百万円）及び流動負債の「その他」の減少（1億87百万円）であります。固定負債は21億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億66百万円減少いたしました。減少の主な要因は、固定負債の「その他」の減少（2億89百万円）であります。

この結果、負債合計は、151億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億59百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は235億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益2億95百万円及び剰余金の配当1億3百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.8%（前連結会計年度末は58.3%）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は前連結会計年度末に比べ21億32百万円増加し、160億93百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は23億88百万円となりました。（前年同期は54億24百万円の資金獲得）

これは、税金等調整前四半期純利益6億15百万円、売上債権の減少28億21百万円等の収入要因がありましたが、仕入債務の減少9億93百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億47百万円となりました。（前年同期は3億4百万円の資金使用）

これは、有形固定資産の取得等による支出1億90百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億5百万円となりました。（前年同期は2億26百万円の資金使用）

これは、配当金の支払1億3百万円等の支出によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当上半期の売上高は前回予想を下回りましたが、利益面ではほぼ計画通りに推移いたしました。下半期につきましては、引き続き厳しい経済環境が予想され、情報システム機材分野の文書デジタル化業務において官公庁・自治体からの新規入札案件や、危機管理対策としてのアーカイブ需要などが見込まれるものの、通期の売上高は前回予想を若干下回る見通しとなりました。

一方、利益につきましては、上半期に引き続き、文書デジタル化業務や選挙システム機材などの分野で利益率の改善が見込まれるため、前回予想を上回る見通しとなりました。

以上の状況により、平成24年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたします。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	42,688	1,058	1,143	634	79.83
今回修正予想（B）	40,470	1,150	1,260	690	86.86
増減額（B－A）	△2,218	92	117	56	－
増減率（％）	△5.2	8.7	10.2	8.8	－
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	43,604	1,870	2,016	675	85.00

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,961	16,093
受取手形及び売掛金	12,240	9,306
商品及び製品	1,719	1,653
仕掛品	113	46
原材料及び貯蔵品	288	290
その他	1,131	791
貸倒引当金	△42	△34
流動資産合計	29,412	28,148
固定資産		
有形固定資産	3,822	3,866
無形固定資産	168	148
投資その他の資産	6,725	6,612
固定資産合計	10,717	10,628
資産合計	40,129	38,776
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,903	7,910
短期借入金	3,537	3,537
未払法人税等	150	171
賞与引当金	437	404
製品保証引当金	150	150
その他	1,042	854
流動負債合計	14,221	13,028
固定負債		
退職給付引当金	199	201
役員退職慰労引当金	887	838
資産除去債務	30	—
その他	1,412	1,123
固定負債合計	2,529	2,162
負債合計	16,750	15,190
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	20,212	20,404
自己株式	△7	△8
株主資本合計	23,418	23,610
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	△39	△25
その他の包括利益累計額合計	△39	△25
純資産合計	23,379	23,585
負債純資産合計	40,129	38,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	21,253	18,968
売上原価	16,644	15,118
売上総利益	4,609	3,849
販売費及び一般管理費	3,434	3,277
営業利益	1,174	572
営業外収益		
受取利息	31	31
受取配当金	27	27
持分法による投資利益	10	—
その他	31	28
営業外収益合計	101	87
営業外費用		
支払利息	21	20
持分法による投資損失	—	3
その他	3	4
営業外費用合計	25	27
経常利益	1,250	632
特別利益		
償却債権取立益	2	—
貸倒引当金戻入額	30	—
資産除去債務消滅益	—	22
特別利益合計	32	22
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	182	33
会員権売却損	0	0
会員権評価損	—	5
役員退職慰労引当金繰入額	9	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	—
特別損失合計	220	39
税金等調整前四半期純利益	1,063	615
法人税、住民税及び事業税	474	154
法人税等調整額	62	165
法人税等合計	536	319
少数株主損益調整前四半期純利益	526	295
四半期純利益	526	295

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	526	295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	13
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	△86	13
四半期包括利益	439	309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	439	309

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,063	615
減価償却費	199	185
投資有価証券評価損益 (△は益)	182	33
固定資産除却損	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△31	26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	△32
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6	2
前払年金費用の増減額 (△は増加)	56	9
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	85	△48
受取利息及び受取配当金	△58	△58
支払利息	21	20
為替差損益 (△は益)	2	2
持分法による投資損益 (△は益)	△10	3
会員権売却損益 (△は益)	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	6,327	2,821
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△309	130
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△94	136
仕入債務の増減額 (△は減少)	△520	△993
未払金の増減額 (△は減少)	△191	△19
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	20	△165
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	—
資産除去債務消滅益	—	△22
その他	14	△319
<b>小計</b>	<b>6,773</b>	<b>2,327</b>
利息及び配当金の受取額	61	62
利息の支払額	△21	△20
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,389	18
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,424</b>	<b>2,388</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△500	—
定期預金の払戻による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△251	△190
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△23	△29
投資有価証券の取得による支出	△25	△5
投資有価証券の売却による収入	—	0
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	1	78
その他	△5	△3
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△304</b>	<b>△147</b>

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△25	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△198	△103
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226	△105
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,890	2,132
現金及び現金同等物の期首残高	10,544	13,961
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,435	16,093

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	その他	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	14,541	3,200	3,397	114	21,253	—	21,253
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	0	0	135	136	△136	—
計	14,541	3,200	3,397	249	21,390	△136	21,253
セグメント利益又は損 失(△)	720	380	△7	77	1,172	2	1,174

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	その他	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	12,733	2,805	3,315	114	18,968	—	18,968
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	1	—	0	131	133	△133	—
計	12,734	2,805	3,315	246	19,101	△133	18,968
セグメント利益	99	389	2	79	571	1	572

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。